

くさい物に蓋をして見て見ぬフリをするのではなく、  
「金融システムの裏側」まで知った上で、ベストな選択をしたい“勇敢な”あなたへ  
資本主義のシステムを全て暴露するトレーニングに招待します

---

*Let me issue and control a nation's money  
and I care not who writes the laws*

私に一国の通貨の発行権と管理権を与えよ。  
そうすれば誰が法律を作ろうと、そんなことはどうでも良い。

マイアー・アムシェル・ロートシルト  
資本主義を築いた銀行家（ロスチャイルド）

---

これからこの手紙の中で、誰も教えてくれないお金の真実をお伝えします。

お金に関するおおよそ全ての疑問は、この手紙の中で解決しますので、  
今すぐスマートフォンを機内モードに切り替えて、集中出来る環境でご覧ください。

何度も衝撃が走るかもしれませんが、周りのお客様のご迷惑にならないように  
声を出さないようにご配慮をお願いいたします。

※誇張抜きに、かなり過激な内容になります。

常識がバラバラと崩れる恐れありますので、心してお読みください。

こんにちは、終身旅行者（PT）のカフカです。

あなたは「お金」について、どのような印象を持っていますか。  
あるいは、これまでどのような教育を受けてきましたか。

現在の社会は、どこにいてもお金が顔を出しますが、  
その基本的な教育さえ行われていないことに、私はずーっと疑問を抱えていました。

あなたはのでしょうか。

将来のお金について考えるとき、明るい未来を想像するよりは、  
漠然とした不安があり、何となく先行きが怪しく、心許ない感じはしませんか。

例えば一つ。

私が感じる「違和感」を共有させてください。

## なんでどの国も借金だらけなの？

日本では、テレビやネットで、たびたび話題に出されますが、

国の借金は1,000兆円ある。

でも円建てだし国民が国債を保有しているから大丈夫。

という声を聞かれたことがあると思いますが、あなたはどう感じられますか。

「なんで、そんなに借金しちゃったの？」とか

「借金する前に、お金を作ればいいじゃん」と（ごく自然に）考えませんか。

あるいはもっと言えば、

ギリシャも、イタリアも、フランスも、アメリカも、カナダも、ドイツも、

なんで世界中どの国も借金だらけなの？

と感じるのは、私だけでしょうか。

一度、周りの大人に聞いてみてください。

恐らく誰も答えられないと思います。

テレビに出るような政治家でさえも、「っぼいこと」言っているだけで、

少し掘り下げれば、矛盾だらけの回答をしているのですから…

## 誰がお金を創っているのかさえも知らない

私は、このような「違和感」をずーっと感じていました。

みんなお金のことばかり考えているのに、実際何も知らないんだ。と。

そこで、ここ2年間ほど「金融」について、あらゆる角度から真剣に調べました。

そして、ある事実に辿り着いたことで、

「お金に関する諸問題の殆ど全て」について、一定の答えを出せるようになりました。

結論からお伝えすると、

この金融資本主義社会における最大の権力は、「通貨発行権」と呼ばれるもので、その権力を所有しているのは、**国でも政府でもなく、民間の銀行家**なのです。

この「政治」と「金融」の分離が、あらゆる問題を引き起こしています。

資本主義においては、全ての権力（例えば、三権：司法・立法・行政）は、通貨発行権の前では、無力になります。

だから世界で最も影響力のある人物は、

ビル・ゲイツでも無ければ、トランプ大統領でも無く、あるいはもちろん、ジャスティン・ビーバーでもなく、とある**銀行家**なのです。

これからその仕組みをお見せしますが、

99%以上の人には未知な世界のため、**規格外かつ常識外の話**に聞こえるでしょう。

※僭越ですが、恐らくあなたも知らないことだと思います

しかし、お金の歴史を丁寧に紐解いていけば、納得していただけるはずです。

逆に言えば、通貨発行権と政金分離以外で、金融の歴史は説明が付かないのです。

難しい専門用語は極力使わずにお伝えしますので、どうぞ肩の力を抜いてください。

この前提知識を学べば、**資本主義の仕組みは、驚くほどシンプルな姿**を取り戻します。

これは、お金の操作されない人生を送るためには、必須の知恵だと断言します。

## システムの設計者の意図を考える

資本主義とは、企業や国と同じように、一つのエコ・システム（系）です。

システムには、必ず設計者がいて、**その意図や目的が明確に反映されます。**

つまり、全体の仕組みだけ理解していれば、

あとは見るべき指標（設計者の視点）をいくつか押さえておくだけで、

安全に資産を守れるし、**常に正の期待値を約束された投資**が出来ます。

投資=ハイリスク

と考えるのは、「前提の理解」が欠如しているために、振り回されているのです。

今回、私のメルマガの読者、約200名にアンケートを取ったところ、

殆どの方は、お金や投資に対して「関心・興味」が見受けられましたが、

この**「資本の基本構造」を認知している人は、3%もいない**ことが分かりました。

学習意欲の高い読者に聞いてもこのくらいなら、況や世間では1%もいないでしょう。

そこで、仕組みの全てを明かすために、

金融に特化した1デイ・トレーニング（特別講義）を企画することにしました。

前述の「金融資本主義」の構造を全て解体しますが、

退屈な学校の授業のように、単なる情報をお伝えするだけではなく、

**現実の世界で使える知恵**として、具体的なテクニックまでお伝えします。

システムの前提を知った上で、ビジネスや投資（お金を稼ぐこと）をすると、  
知る前と比較して、安定感や堅牢性が全く異なることを実感していただけると思います。

例えば、「投資」というテーマで同じようなセミナーはたくさんありますが、  
今、ビットコインが買いどきです。1年後には10倍になるでしょう。  
今買うだけで、あなたもお金持ちの仲間入りです。

というような、

非常に限定的な場面でのみ使える、限定的な手法を学びたがる人が多いですが、  
買い方だけ学んで、一体どうやって稼ぐつもりなのか・・・私には不思議でなりません。

なぜなら、投資においては、保有（エントリー）こそ誰にでも出来ますが、  
リスク管理や、手放すタイミング（エグジット）を見分けるスキルがないと、  
一時的に含み益こそ出せても、時間の経過に従ってゼロ以下に収束します。

それよりは、システムの構造を学び、大局に沿った方法でビジネスや投資を行うほうが、  
遥かに安全で、高い期待値を獲得できます。（ローリスク・ハイリターン）

網羅的に伝えるには、あまりに膨大なテーマですが、  
最重要の部分だけ、ギュッとまとめて、1日のトレーニングでお伝えします。

以下、トレーニングの詳細です。

全4講義でお届けします。

## ◆第1講：最大の権力・通貨発行権

初めに、物々交換から始まる近代までのお金の歴史について解説します。

現在、国立印刷局で製造される **1万円札は、原価22円**ですが、昔は、穀物・貝殻・貴金属など、そのもの自体に価値があり、1万円分の金貨には、1万円分の物質的な価値がありました。

つまり、金や銀の時代から「紙」に、いつの間にか「すり替え」が起こったのですが、この「**すり替え**」の仕組みが、「通貨発行権」を理解する根幹を成します。

銀行家は特権を守るために、様々な工夫で目くらましをしていますので、具体的に実例などを挙げながら、100%理解していただけるようにお伝えします。

もしあなたが、通貨発行権について既に学んだことがあれば、「フリーメイソン」や「イルミナティ」といった、秘密結社の存在を知り、「人類の支配」や「隠れた黒幕」といった陰謀論を信じているかもしれません。

私自身、それらの書籍を何冊も読んできましたが、多くのそれは、「非常に偏った意見で展開している」という印象を受けました。

かつてソクラテスが、「誰一人として悪を欲する人はいない」と言ったように、行為のレベルの「悪」は、その人にとっての「善」になることがあります。

借金を抱えた父親が、家族に心配をかけないために、「優しい嘘」を付くことや、企業の経営陣が、一時的な経営不振を、全社員に逐一報告しないように、システムの設計者の視点からも、**全体最適を考えると世界に隠すべきこと**があるはずです。

人類がこの250年間で、指数関数的に文明を発展させてこれた理由は、間違いなく「**有利子金融**」に拠るものだと断言できます。

利子の持つ弊害は、いつの時代も問題視され、非難されますが、あえて、利子の持つプラスの側面・優位性にも焦点を当てていきたいと思えます。

私達は、利子による弊害に苦しみながら、同時に**恩恵もたっぷり受けている**のです。

## ◆第2講：資本による文明のコントロール

この講義では、通貨発行権を行使することで、事実上、**世界を管理できる仕組み**を解説します。

資本主義という名前の通り、権力を握っているのは、政治でも法律でもなく「資本家」です。

国家の三大権力（司法・立憲・行政）をコントロールする仕組みをお見せした後**世界中の国が、なぜ借金だらけなのか？**という疑問に回答します。

さらには、融資と証券市場を使うことで、主要な全企業を買収し、思いのままに、世界の経済発展をコントロールできるメカニズムをお見せします。

この世界は、システムティックに動いています。

産業の発展も、株価や為替の変動も、さらには戦争や平和でさえも、全て特権階級による**「出来レース」**だという真実をお見せします。

逆に言えば、特権階級の動きだけ押さえおけば、公開情報に騙されずに株価も、為替も、産業や戦争も、非常に高い精度で未来予測できるようになります。

バブルや恐慌、国の破綻は、市民にとっては災難以外の何物でもありませんが、事前に予測できれば、（経済の意味においては）大きなチャンスにもなります。

理不尽な損害を被らないようにするためにも、正しい情報の解釈をお伝えします。

オーダーメイド・トレーニングでも解説したとおり、真のエリートは、知識量が多いのではなく、**解釈能力が高い**のです。

この「解釈」の思考パターンも、実例を挙げてお見せしようと思います。

ノーベル賞受賞者にユダヤ人が多いのは何故か？

トレーニング受講日までに、一度考えてみてください。



## ◆第3講：金融カルテルへの反対勢力・ビットコイン

3講義目では、金融カルテルへの反対勢力に焦点を当てて見ていきます。

一般的に「悪」だと思われがちな、社会主義や共産主義は、結果はともかく、思想は資本民主主義より遥かに高潔で共和的です。

近年のインターネットの発達によっても、反対勢力がいくつも生まれていますが、その中で、最も話題になっているのは、**暗号通貨の「ビットコイン」**でしょう。

ビットコインが、なぜ「世界を変える通貨」と一部では呼ばれているのか。

法整備がまだ不十分かつ、ファンドの介入も少ない段階であるにも関わらず、2017年の1年間で、10倍以上に値上がりしているのは、それだけ「期待」や「可能性」を感じている方が多いということです。

ビットコインは、「通貨」としての役割を担うには、問題が多すぎますが、技術面に関しては、可能性に溢れた「次世代の革新」ですので、そのメカニズムを丁寧に解説させていただきます。

暗号通貨の設計者である「ナカモトサトシ」の理念は共和的で高潔でしたが、現実のコミュニティは、全くそうはなっていません。

資本主義と同じように、**中央集権的かつ中国の独占市場**になっています。

また、デフレ通貨、半減期、発行上限、政府の介入、51%問題、取引所のハッキングといった問題が山積みで、資本家達はもはや見向きもしていないのが現状です。

なぜ、ビットコインに資本家が介入しないのか？

なぜ、バフェットやJ P・モルガンが、ビットコインに批判的なのか？

**「資本”もまた”ベキ分布に回帰する**」という性質を、

自然界の普遍的な摂理を踏まえながら、丁寧に紐解いていきたいと思います。

## ◆第4講：次世代の技術・ブロックチェーン

最後の講義では、前3講義を全て踏まえた上で、適切な資産の守り方や、ビジネスの考え方を共有させていただきます。

金融の権力者たちは、「ビットコインは通貨の代わりを担えない」と考えていますが、同時に「**ブロックチェーン技術は、次世代の価値になる**」と捉えている印象を受けます。

というものの、現在「通貨発行権」を行使する**世界中の中央銀行が自ら暗号通貨を作っている**のです。

また、ビットコインのような「民主主義的」な暗号通貨は、ブロックチェーン技術を「お金」という形でしか実現できていませんが、

中央銀行が作ろうとしているブロックチェーンのシステムは、お金だけではありません。

インターネットが、情報の革命を起こしたのと同じように、

ブロックチェーン技術により、

**デジタル・アセット（電子的な資産）の革命**が起こる可能性が高まっています。

私自身、資本主義の大局に調和させながら、自分の資産を徐々にデジタル・アセットに移行する資産分散を行っています。

資本家はどこを目指しているのか？

という「ゴール」のが見えていれば、あなた大切な資産は守れます。

また、前章までの視点を踏まえた上で、ゼロから資産・キャッシュフローを作るために、

**コミュニティを持つ重要性や価値**についても言及したいと思います。

## トレーニングの受講申込み

---

以上の4講義でお届けします。

日程は、2018年の1月13日(土)に、都内の会場を手配します。

時間は、10:00AM ~ 17:00PM頃を予定していますが、

会場の詳細と合わせて、申込後にメールにてお知らせします。

参加費用は、5,000円(税込)です。

今回は東京会場のみで、コストも時間も相応にかけています。

営利を無視した最小の価格で提供させていただいておりますので、

事前決済、かつキャンセル・返金は例外なく不可とさせていただきます。

会場の関係で、人数制限を設け、完全な先着順(決済ベース)とさせていただきます。

定員は、105名です。

いただく時間と費用以上の対価はお届けできるように、

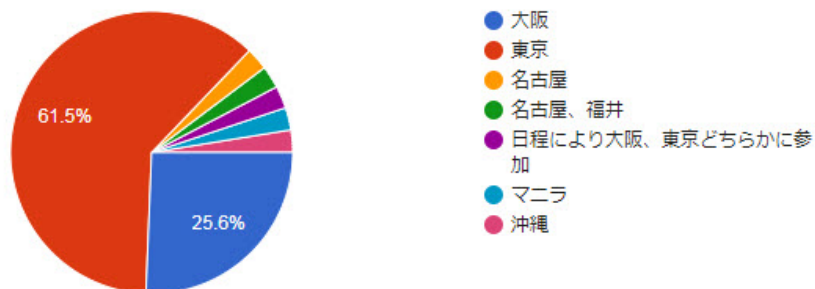
全力で年末まで追い込みますので、どうぞご期待ください。

~~トレーニングを受講する(クリック)~~  
満席御礼。募集は終了しました。

（「参加したい」と答えた方）受講の会場はどちらが良いですか



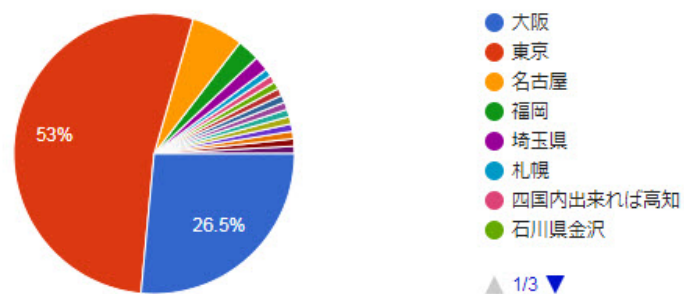
39 件の回答



（「参加したい」と答えた方）受講の会場はどちらが良いですか



117 件の回答



事前アンケートでは、150名を越える参加希望をいただいております。

数日で席が埋まる可能性もありますので、機会損失をしないようご注意ください。

**トレーニングを受講する(クリック)**  
**満席御礼。募集は終了しました。**

## 受講後の継続的なサポート

---

講義でお伝えできる情報は非常に限られています。

当日のトレーニングは、あくまでも「キッカケ」を与える役割で、

1度聞いただけで全てを理解できる方はいないと思います。

トレーニング後も、相互に情報交換できるように、

受講後のフィードバックをいただいた方には、**2つの特典を無料でお付けします。**

※特典の具体的な受け取り方法は、参加後にご案内します

### 【特典1】：受講後のトレーニング動画の配信

復習用に、トレーニングを撮影した動画を後日配信させていただきます。

オーダーメイド・トレーニング同様、全ての動画は編集・**字幕付き**で配信します。

### 【特典2】：メンバー専用サイトでのサポートコンテンツ

受講者限定のメンバーサイトに招待させていただきます。

このサイトでは、講義の動画のほか、フォローアップのコンテンツや、講義資料のダウンロード、さらには情報の参照などもあわせて学んでいただけます。

受講者からのニーズに合わせてアップグレードさせていきますので、こちらも併せてご活用ください。

質疑応答なども、このメンバーサイト内で共有しますので、

**傍から見たら理解不能なスピードで成長**していきましょう。

## Question & Answer

---

Q:

当日受講せずに、動画の配信だけ受け取ることは可能ですか

今回の申込は、トレーニングに参加できる方のみ受付をしています。  
後日、動画受講を提供できるように検討していますが、完成の日程も価格も未定です。

Q:

当日、急遽参加できなくなった場合はどうすればいいですか

前日までに、ご連絡だけいただくようお願いいたします。  
ご案内どおりキャンセル時の返金は出来かねますので、ご了承ください。

Q:

懇親会などはありますか

今回は、トレーニング後に懇親会を企画する予定です（もちろん任意です）  
こちら参加後に、メールにてアナウンスさせていただきます。

Q:

小さな子どもを連れて行ってもいいですか

恐れ入りますが、ご遠慮ください。

Q:

ランチタイムは、どのようになっていますか

昼休憩は1時間半ほど取る予定をしています。  
会場内の食事は禁止ですので、外で取っていただくようお願いいたします。

その他、受講前の疑問点がございましたら、メールにてお知らせください。

~~トレーニングを受講する (クリック)~~  
満席御礼。募集は終了しました。